

放課後等デイサービス 子どもクラブ
事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 公表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制設備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令に従ったスペースを確保している。もっと広い方が良いのではないかと保護者からの意見も出ており、多く出るようなら検討を行いたい。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			人員配置基準を上回る配置を行っている。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	玄関や活動スペースには段差もあり、バリアフリーへの配慮がなされていない箇所もある為、対応出来る箇所から随時改善していく。利用者への配慮もしっかりと行っていく。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		月に一回のスタッフを交えての全体ミーティングを行っているが、スタッフ全員が揃う事が難しい事が多い。回数を増やしたり、参加が出来なかったスタッフも含め全体への共有をしっかりと出来る様にしていきたい。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		前回までは行えていなかったため、今後はアンケートを実施していき業務改善等に繋げていく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	行えていなかったため今後公開していく。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在第三者による外部評価は受けていないが、今後検討していく。
	8 職員の資質の向上を行う為に、研修の機会を確保しているか		○		業務等でなかなか研修を行う機会を確保できていない。今後は内部や外部での研修機会を設けられるようにしていきたい。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			面談を設けたり、普段の様子の変化などを連絡帳や送迎時などで把握し、計画に繋げている。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		アセスメントシートなどは標準化されたものを使用し、支援計画への材料として活用している。

適切な支援の提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			カリキュラムや活動計画では職員を中心にスタッフ全員が出来るだけ関わられる様にして進めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			随時利用者の様子を見て、工夫し多彩なプログラムにして行く様心掛けている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			利用者の様子や状況を見て、楽しく過ごしてもらえる様に常に努めている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			様子や日頃の連絡帳のやりとり、送迎時の申し送り等で常に状況を把握し対応を行い計画に盛り込めるようにしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援前に朝礼を行い、情報共有や確認を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか		○		他の業務の兼ね合いで十分に行えない事がある。振り返りの時間をしっかりと設けていきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録を毎回取り、今後の支援についての検証や改善へと繋げている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一度個別支援計画を作成している。また、面談を行ったり連絡帳や送迎時の申し送りで密に保護者との情報交換・共有をするように努めている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		○		基本活動の理解を深め、質の高い支援を行える様、研修などの機会を多く持つようにしていきたい。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○			管理者や児童発達支援管理責任者が参加しており、今後もそのようにしていく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校と保護者と連携を行い、出来るだけ多角的に対応できるように心掛けている。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケアに関しては対応は行っていない。利用している保護者に対しては契約時などで主治医についての聞き取り等行っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	一部でのみしか関わりは現在では持てておらず、保護者とのやり取りが主となっている。必要に応じ関わりを広げ情報共有・相互理解を深めていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			他の制度について何があるのかを説明し、様々な支援がある事や情報提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	機会を多く設けられなかった為、積極的に取り組めるようにしていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか			○	地域の祭りに参加する等、機会はあるが定期的に交流すること等は現在のところ無いので、より多くの機会が得られるようにしたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	機会を多く設けられなかった為、積極的に取り組めるようにしていきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日頃の連絡帳や送迎時の申し送りを通じて常に情報共有、共通理解を持つように努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	連絡帳や送迎時での申し送り時や電話等で相談対応をしてくれているが、今後はより充実出来る様に努めていきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行っており、変更があった際は丁寧に説明する様心掛けている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があった際は、出来る限り誠意を持って対応・支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在保護者会の開催はしていない。多くの要望があった場合は開催の検討を行う。

保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			責任者を設け、誠意を持って対応を行う様心掛けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		毎月、利用希望表と一緒にイベントについてのお知らせを配布している。日頃の様子についての情報に関してはあまり発信出来ていない為、個人情報の観点から十分注意し対応して行きたい。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報など大事な情報については鍵付書庫にて保管している。今後も注意していきたい。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			ひとりひとり特性に応じ配慮を行う様心掛けている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			頻繁ではないが、工作カリキュラムで作成した作品を地域の祭りで展覧会として地域の人たちに見てもらおう等イベントを行っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルを作成し必要に応じ変更するようにしている。周知徹底に関しては日十分なところがある為、徹底するようにする。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		今後、定期的に行える様にしていき、以前は利用者を交えての訓練が出来なかったが、利用者も交え実践的な訓練を行って行きたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		朝礼やミーティング時、各スタッフに情報提供等行っているが、研修に関しては機会がなかなか設けられていない為、機会を持てるようにし、各スタッフ理解を深める様努めていきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		身体拘束は行っていないが、保護者とは面談や日々の連絡帳を通じて情報を共有し、常に必要とする支援を考えている様に心掛けている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者からの聞き取りを通じてリストを作成し対応している。スタッフ全員に周知するようにしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットが発生した時は、職員・スタッフ全員が情報共有、対応等を話すようにしている。事例集もまとめていきたい。